

令和2年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 3 年 6 月 4 日 作成

事務事業名	運動・スポーツ習慣化促進事業	外部評価の状況	事務事業No.	311 - 39
		なし		

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民協働部	健幸都市推進課	健幸都市係	主任	竹上 満喜子	課長	瀬尾 善忠
施策体系	総合計画	政策	3	健幸・子育て		
		施策	1	健幸都市づくりの推進		
		基本事業	1	健幸都市づくりの推進		
	その他の計画	個別計画	第2次いづか健幸都市基本計画			
根拠法令・条例・要綱等	無し					
事業開始年度	令和2年度	事業終了年度	令和4年度	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	全部委託	補助金等の支給	なし	実施計画期間	令和2年度～令和4年度	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	無関心層のうち、特定健診等で早急な改善が必要な者（ハイリスク患者）を医療機関と連携しながら重点的にケアする事業を国補助金（定額）を活用して実施するもの。また、令和元年度まで実施している事業成果を活用しながら専門家の持つノウハウを基に飯塚方式の構築、マニュアル作成を行い、将来的には市独自での実施を目指す。					
対象	働きかける相手・もの	40歳以上の市民				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	特定健診や医師会と連動した参加者の誘導 健幸アンバサダーからの情報発信				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	運動習慣を身につけてもらうことで、健康状態の改善を図る。				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
個別運動プログラム教室	教室	参加者1人1人に合った運動プログラムの作成及び実施	0	138	216

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
運動教室参加者	人	100	0	100	160
	方向性	達成目標年度	実績	0	88
	増加	毎年度	達成率	#DIV/0!	88.00%
体力年齢の改善	歳	5	0	5	5
	方向性	達成目標年度	実績	0	4.7
	維持	毎年度	達成率	#DIV/0!	94.00%
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
			目標値		
	方向性	達成目標年度	実績	#DIV/0!	#DIV/0!
説明			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 3 健康づくり推進費		
	大 4 健幸都市推進事業費	中 13 運動・スポーツ習慣化促進事業費【政策】	他 0 事業			
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	区分(R1まで)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	正職員	0.00 人 0	0.12 人 946	前年度実施なし	0.49 人 3,862
	任期付職員(保育士)	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	嘱託職員	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.30 人 812
	臨時職員	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
		2級パート		0.00 人 0		0.00 人 0
	人件費計(A)			0		946
事業費	直接事業費(B)		0	12,529		12,430
	総事業費(A+B)		0	13,475	17,104	
直接事業費のうち の主な歳出内訳	委託費		0	12,514	11,864	
	通信運搬費		0	16	179	
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0	0	243	
	国・県支出金		0	10,000	10,000	
	市債		0	0	0	
	一般財源		0	3,475	6,861	
その他()						

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	市民の健康状態を改善し、医療費・介護費の削減を見込むものであり、市の財政負担軽減の事業である為、妥当である。
	目的の妥当性	妥当	特定健診等で早急な改善が必要な者(ハイリスク患者)の健康状態の改善を図るものであり、妥当である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	参加者に運動習慣を身につけてもらうことで、参加者個人の医療費・介護費の軽減にもつながるため、妥当である。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地あり	事業開始初年度であり、機器等の初期投資が必要であったため、削減の余地はない。
	負担割合の適正化	適正	参加者1教室あたりの参加費は1回あたり375円であり、他の民間事業者の教室と比較しても安価である為、適正である。
	手段の最適性	検討の余地あり	教室実施会場が2か所と限られているほか、本市と委託事業者の教室内容についての意見の相違等がみられたため、検討の余地がある。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、教室参加の目標人数を達成することができなかった。
	上位施策への貢献度	貢献できた	運動教室参加者の運動習慣の定着が見られたほか、体力テストの結果も上昇したため貢献できた。
	事業継続の有効性	ある	市民の健康増進及び運動習慣の定着のため、事業継続の必要がある。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	前年度実施なし
なし	なし	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	前年度実施なし

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

前年度実施なし

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成 果】	参加者の運動習慣の定着及び体力テストの改善等の結果を得ることができた。 また、健幸アンバサダー講座を行ったことで、来年度の教室参加の際に口コミによる周知を行う方を養成することができた。
【課 題】	教室開催箇所が2か所に限られていること、開催の曜日にも限られていることから、参加したくてもできない方が多数存在するため、コロナ対策を含め、開催方法を検討する必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充				評価区分	事務事業の方向性	
	現状維持	④	②	①			
	縮小	③	⑤		一次評価	①コスト・成果ともに拡充	
	休・廃止	⑦			二次評価	①コスト・成果ともに拡充	
		休・廃止	縮小	現状維持	拡充		
		コスト投入の方向性					

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	健幸アンバサダーの口コミによる教室開催の周知。
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	教室開催日数及び開催箇所の増加を行う。

評価変更理由	担当課は記載しない。
--------	------------